

台湾新聞

TAIWAN NEWS ◆ 2015年12月7日号 東京発行 NO.224

発行元: 有限会社 台湾新聞社 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4 TEL: 03-5917-0045 FAX: 03-5917-0686 http://www.taiwannews.jp E-mail: info@taiwannews.jp
■定期購読をご希望の方は台湾新聞社までお問い合わせ下さい。 定価 350円(税込) 定期購読 12回: 3,500円(税込) / 24回: 7,000円(税込) ©郵便振替: 00140-4-594168

FROM TOKYO 東京
早売9,800円(往復) 好評発売中~!
ご予約は弊社HP、もしくはお近くの旅行会社まで
11月より成田NRT⇄桃園TPE
A330機材大型化

FROM	TO	機名	出発	到着	機材/運航日
成田NRT	→ 桃園TPE	GE605	13:30	16:00	A330 毎日
桃園TPE	→ 成田NRT	GE607	20:30	23:30	
成田NRT	→ 桃園TPE	GE606	07:50	12:00	
桃園TPE	→ 成田NRT	GE608	15:30	19:30	

日台で租税協定などの覚書調印、EPA 締結に拍車

日台間でこれまで継続して検討されている包括的なEPA(経済連携協定)の締結。このほど、新たに日台間で3つの覚書が締結され、EPA締結実現がさらに一歩前進した。

日本の対台湾窓口機関である交流協会(大橋光夫会長)及び台湾の対日窓口機関の亜東関係協会(李嘉進会長)は11月25日と26日の2日間、ホテルオークラで「第40回日台経済貿易会議」を開き、26日の同会議閉幕後、日台間の二重課税や脱税などの防止を目的とした「日台民間租税取決め(以下:租税協定)」、そして日台の競争法(独占禁止法)の効果的な執行に貢献することを目的に、両協会が協力する内容を明記した「日台競争法了解覚書」、さらに日台間の防災実務に関する情報共有や意見交換を密に行い、交流を強化するための「日台防災実務協力覚書」の3つの覚書を締結した。



租税協定は今後、法整備などの手続きを経て、早ければ2017年1月に発効する見通し。台湾は、今年8月には中国大陸とも租税取り決めを締結しており、これまでも英国やインドなど29カ国・地域と租税取り決めを締結してきた。今回の日本との締結は30回目にあたる。

一方、大橋会長は今回の締結について、「今日締結した3つの覚書は、それぞれの分野で情報の交流や意見交換を円滑に行うもの、日台間の協力関係を深めるためのものであり、極めて重要、有益だ」と述べたほか、安倍晋三首相の「台湾は日本にとって同じ価値観を持つ大変有望なパートナーであり大切な友人である」という言葉を引用し、「長年の月日を経て構築された揺るぎない関係こそ日台間の宝物だ」と日台の絆を強調した。

両協会は1972年以降これまでに投資協定(2011年)、オープン・スカイ協定(2011年)、特許審査ハイウエー覚書(2012年)、漁業権をめぐる協定(2013年)など、61個の各種取り決めを締結している。

李会長は同日の会議後の記者会見で、最終目的は日台間EPA(経済連携協定)締結であることを強調した。「今日は積み木柄のネクタイを締めてきた。我々は、もとより積み木方式で覚書の締結を推し進めてきており、このほどの3つの協定締結は日本とのEPA締結前の最後の重要な積み木の1つである。台湾はすでに準備を整えた」と(李会長)と述べ、EPA締結に期待感を示した。

李会長、EPA締結に向け日本側の再検討を要求

一方、EPA締結に向けて現在直面している問題点についても言及。「日台経済パートナーシップ委員会はすでに2回の会議の場を設けた。しかし今年日本食品の輸入規制問題の関係で、日本側は会議を2回キャンセルした」と、日本側に対し遺憾の意を示し、「日台間貿易量における食品部門の割合はとも低い。食品問題に影響を受けるべきではない」とした。そのうえで、「日本側は全体的に良く考慮し、話し合いを重ね、我々が来年6月と11月に開催したいと考えている日台経済パートナーシップ委員会の会議に備えて頂きたい」と強く要求した。

あと一歩のところまで来ている日台間EPAの締結。日本側の前向きな姿勢に期待が持たれる。

配当課税など減免で投資促進

このほど日台間で締結された3つの覚書で、最も注目されていたのは租税協定だった。租税協定は、進出企業の税負担の軽減などが可能で、日台双方の投資を促す狙いがある。

租税協定の発効後には、日台間で支払われる配当などに対する税率が引き下げられるほか、出張者への二重課税の解消、現地子会社から配当などを送金する際に源泉徴収される税率が引き下げられる。また、現地に支社を持たず新たに進出する企業に限り、営業利益が免税となるメリットがある。

台湾は現在、IT(情報技術)産業などで中国大陸や韓国との激しい競争の渦中にある。

66年振りの两岸首脳会談が実現



台湾の馬英九総統と中国大陸の習近平国家主席は11月7日、シンガポール市内のホテルで、首脳会談を行った。これは、1949年に中華人民共和国が成立し、蒋介石の中華民国が台湾に移って以来初めてのことであり、兩岸(台湾と中国大陸)関係に新たな歴史を刻んだといえる。

国共内戦から66年の時を経て実現に至った直接対談で、馬総統は青のネクタイ、習国家主席は赤のネクタイを締めて現れ、満面の笑みで

80秒に渡る長い握手をしてみせた。そして、この歴史的な現場に立ち会おうと、世界各国から大勢のメディアが駆け付けた。日本でも、翌8日の大手6社の新聞全てが馬習会を1面で大きく取扱い、中面でも特集を設けるなど、高い注目度が見受けられた。

台湾では同会議を、双方の首脳の名前をとって「馬習会」と呼んでいる。馬習会で習国家主席は冒頭、「兩岸関係に歴史的な1ページを開いた」と意義を強調。馬総統はこれに対し、「兩岸関係は今が最も平和な段階にある」と語り、自ら進めてきた対中融和路線の成果を誇示した。また、双方は主権を認め合っていないため、お互いを「~先生(~さんの意)」と呼び合うなど、平等な立場を保持した。なお、約1時間にわたる対談の中で、共同声明や平和協定などの署名が求められる活動も行われず、兩岸関係において実際にどのような効果があったのかは依然不透明であり、各方面で異なった見解が出されている状況である。

馬習会については、馬総統がこの2年ほど、絶えず中国側に「期待」を投げかけており、昨年11月の北京APECにも出席を要望したが、国際会議の舞台での台湾の指導者の出席に中国側が難色を示して頓挫した経緯があり、馬総統にとっては念願の対談となった。

TOPIC

日本語版

- アパグループが台湾企業と合併で新会社設立、米進出目指す 2面
- 台湾バンド「MAGIC POWER」が日本ライブでパワー炸裂! 8面

中国語版

- 日本中華聯合總會歡慶70周年 活化地區協會成課題 1面
- 華航慶祝台灣大板直航 開啓台日觀光新紀元 5面
- 日本房産投資快訊 8面

WEBでもニュース記事が読めます

<http://blog.taiwannews.jp>

2015年度忘年会承ります

南国料理で宴会プラン楽しく飲送迎!!

予約電話: (03)5215-2537

台湾の翼 チャイナエアライン

なら、うまくいく。

ビジネスはチャイナ エアラインで www.china-airlines.co.jp

CHINA AIRLINES

プラスの力になる

続けて読むから「台湾」が解る
台湾のとれたて情報を毎月お届け。

台湾新聞

年間定期購読

毎月第1日曜発行

お得01 送料無料でお届け!

お得02 1年契約で700円お得!

※12回発行で購読料3,500円(1部350円×12=4,200円)

～お申込みはかんたんです(住所:電話番号:お名前:契約月)～
お申込み窓口 (TEL03-5917-0045 FAX03-5917-0686) まで
メールでも受付中! (info@taiwannews.jp)

台湾新聞2016年 謹賀新年元旦号 広告ご出稿のご案内

台湾新聞社では、来年1月1日に105年目の新年を迎える中華民国(台湾)へのお祝い広告を募集しております。台湾新聞の読者の方々に向け、お祝い広告を掲載しませんか? 詳細御希望の方はお気軽にお問い合わせください。

【お申し込み方法】 FAXまたはメール、郵送で弊社までお知らせ下さい。

【お問い合わせ・お申し込み先】 台湾新聞社 TEL:03-5917-0045 FAX:03-5917-0686 E-mail: info@taiwannews.jp 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4

EVA AIR A STAR ALLIANCE MEMBER

オンライン予約 好評発売中!

14日前のご購入でさらにお得に!!

台湾行 ¥16,600~

詳細・ご購入はこちら ▶ evaair.co.jp

日本語のFacebookを開始しました。各種キャンペーンや航空券のおトクな情報も掲載しています! 詳細はこちら: facebook.com/evaairwayscorp.jp

新北市立図書館にみる次世代図書館のあり方



新北市立図書館の外観(提供:図書館流通センター)
 新北市政府文化局の林寛裕局長はこのほど、新北市立図書館の唐連成館長らを引き連れ来日した。パシフィック横浜で開催されている第17回図書館総合展内で11月10日、「台湾にみる次世代型図書館～知的情報交流空間のデザインと演出を検証～」と題する講演を行った。この講演は、今年の5月10日に開館した新北市立図書館の特色や、次世代型の図書館としてのあり方などを詳しく説明し、日本人の来場者に次世代型図書館への理解を深めてもらう事を目的とした。コーディネーターは東洋大学経済学研究科(公民連携専攻)客員教授の南学氏が務めた。

林局長は冒頭、「市民が集まる交流の場、そして生活の場となる必要がある」と述べ、これからの図書館のあり方を強調。「図書館は単なる施設やランドマークではなく、一般市民の文化、社会、ビジネス、学習、コミュニティ、エンターテインメント、電子情報アクセスの中心である」と位置づけた。

電子情報アクセスを例にあげると、同図書館では、館内のフロアガイドや学習室の予約を全て電子化し、タッチパネルでの操作を可

能にしたほか、壁に大画面が埋め込まれ、タッチ操作で書籍検索や書籍ダウンロードなどを行う「eBooks Wall」を台湾で初めて導入するなど、インターネット時代に適合しているよう、工夫が施されていると説明した。

また、台湾の公共図書館の中で最も多くの蔵書数を誇る同図書館は、24時間開館を台湾で初めて実施しており、いつでも好きな時に読書が出来るという。林局長は、「24時間開館している図書館はアメリカでも例がない。24時間態勢で警備員と従業員を常駐させているので、安全性も問題ない」と自信をみせた。

さらに、「ゆっくり読書すること」を推進するため、日本風、地中海風、インドネシア風、北ヨーロッパ風などの特別閲覧室が設置されているほか、子供たちのために対話式読み聞かせ会の実施、高齢化を受けたシニア世代に役立つ資料室の設置、車いすなどにも対応した高さ調節機能付きテーブルの導入など、全世代の市民への快適な読書空間提供に尽力している。

同講演を聞いた図書館人材管理を行う女性は「新北市立図書館は図書館自体が1つの街みたいだと感じました。人が集まる仕組み、市民を育てる仕組みが考案された図書館だと思う。是非一度現地に行ってみてみたい」と話していた。

現在、同図書館は開館から約半年ですでに100万人の来場者があり、林局長は来年の来場者数を220万人と見込んでいる。なお、台湾では

桃園、台南、台中でも次世代型図書館の創設を進めており、台北市も現在建設場所を探している最中だという。林局長は「各地の関係者が同図書館を視察し、参考している。我々は台湾市民と本との距離を近づけ、昔のように多くの方が本を読むように呼びかけていく。さらに多くの方に利用して頂ければ」と目標を語った。



台湾で初めて導入された「eBooks Wall」(提供:新北市立図書館)



階段は吹き抜けで明るい館内に(提供:新北市立図書館)

台湾大学准教授が外国人初のガンダム起動プロジェクトメンバーに



「ガンダム GLOBAL CHALLENGE」の第一次選考に選ばれ表彰された国立台湾大学の非常勤准教授の江明勳氏(写真中央)

「機動戦士ガンダム」生誕40周年を迎える2019年、実物大のガンダムを実働させようと、2014年7月に組織化されたプロジェクト「ガンダム GLOBAL CHALLENGE」が10月27日、秋葉原UDXシアターにて第一次選考会のプロジェクトメンバーを発表した。メンバーは「リアルエンターテインメント部門」と「バーチャルエンターテインメント部門」の2部門でアイデアを公募し、国立台湾大学の非常勤准教授である江明勳氏がリアルエンターテインメント部門で選出された。江氏は外国人として唯一の選出だった。

同日発表会も開催され、壇上でメンバーとしての認定証と副賞の50万円が授与された。リアル部門では江氏のほか、奈良先端科学技術大学院大学博士課程の金子裕

哉氏、ロボフューチャー株式会社代表取締役の木原由光氏、東京大学情報システム工学研究室の岡田慧氏が選ばれた。

江氏は第一次選考会で、「ロボットが人間のような歩行を実現するための、ヒューマノイドロボット歩行に関連する新しいメカニズムの提案」などのアイデアを提出し、全世界から集まった応募の中から見事唯一の外国人として選出され、プロジェクトメンバーとなった。江氏は、「40年前、ガンダムの誕生は私たちに大きな夢を与えてくれました。そして私たちの手で、その夢を実現のものにしましょう」と話し、「自分が研究してきた二足歩行の部分でこのプロジェクトに貢献できると思う。自信はあります」と意欲をみせた。

同プロジェクトは、「機動戦士ガンダム」生誕40周年を迎えるに当たり、全長18mの実物大ガンダムを動かし一般公開することを目的とした「リアルエンターテインメント部門」と、視覚効果を利用して仮想空間で動きを再現する「バーチャルエンターテインメント部門」の2部門でアイデアを募集した。両部門とも選出後はプロジェクトメンバーとなる。第一次ではバ部門での該当者はなかった。

今後、2016年2月まで追加アイデアを募集し、同年内に基本プランを発表する予定。その後、2年間の設計、製作期間を設け、2019年夏にプロジェクトの実現を目指す。

台湾就職セミナーで日台間における就職状況を知る

パソナ台湾(代表・許書揚)は11月14日、パソナ本社(東京都千代田区=代表取締役会長 CEO・南部 靖之)にて第24回パソナ台湾就職セミナーを開催した。同セミナーには就活中の在日台湾人と台湾での就職を目指す日本人ら約100人が参加し、昨今の日台における就活状況について理解を深めた。

同セミナーの講師はパソナ台湾の劉于涵さん。台湾における日本語人材の求人状況や在日日系企業の労働市場現況、面接・履歴書執筆のポイントのほか、日本における就職状況や、日本語人材の求人状況についても説明した。セミナー後は個別相談会も開かれた。

日本人が台湾で就職は困難?

劉さんによると、現在の日台に於ける企業の人材募集は、台湾人の人材を要する日本企業は増えているものの、日本人の人材を求

める台湾企業はとて少なく、台湾での日本人の現地採用はほとんど需要がない状況であるという。理由として、台湾では外国人を雇う際に最低支払わなければならない賃金が決まっている一方で、台湾には英語、日本語を話せる台湾人が多く、高い賃金で外国人を雇うより、比較的安い賃金で雇える台湾人で事足りてしまう事を説明した。

しかし、それでも台湾での就職を希望する日本人は年々増え続けており、年齢も20代から50代まで様々。パソナ台湾の松村リナさんは、日本人が台湾での就職を考える際、「ビジネス上の意思疎通が図れる程度中国語力」が絶対的条件であると断言。この中国語力は、HSK等の資格は参考程度となり、通常面接時の会話力が重要であるという。台湾で日本人が就職するのは簡単なことではないようだ。

数少ない日本人参加者の男性は、「僕は1年台湾に留学し、半年ワーキングホリデーをしました。その中で台湾の方々の日本への強い気持ちを感じ、その際に台湾人に日本の良いところを輸出しながら台湾に恩返し出来たらと考えております。出来ればずっと台湾で働いていきたい」と熱い想いを話していた。

在日台湾人の就職への想い

また、松村さんによると、現在日本に留学している台湾人の卒業後の進路希望としては、日本で働きたい人と台湾に戻って働きたい人の割合が五分五分の状況であるという。「日本での就職は海外での経験、スキルアップの機会としてとらえ、一時的なものとする台湾人が多い。永住するほどの覚悟がある人は少ない」と(松村さん)。

これについて日本企業からの目線はどうな

のかというと、松村さん曰く、外国籍の人材を雇用する事に慣れている企業はテンポラリーである事を理解したうえで、1年でも2年でも在籍して欲しいという企業が雇用するケースが多いという。

劉さんはセミナーで、日本企業が考える在日台湾人留学生雇用のメリットを、大きく4つに分けて説明。語学能力が高い事、日本文化を理解している事、日本の企業文化を理解している事、具体的に問題を解決する能力と忍耐力がある事などを挙げていた。

参加者の日本で就職を希望している大学院生の台湾人女性は、「今までは親が決めた進路を歩んできました。もし、今台湾に戻ったらまた親に甘えてしまいます。自立するために日本での就職を考えています」と話し、すでに10年間日本で働き、転職を考えているという台湾人女性は、「私の性格はとて真面目

で、日本企業の方が合っていると思っている。これからもずっと日本で働きたい」と話していた。

パソナ台湾は1988年の設立。台湾系・日系・アメリカ系など国際的に知名度の高いグローバル企業が取引先となっており、台湾国内外の日本語・英語人材の求職無料サポートを行っている。

セミナーには就活中の在日台湾人と台湾での就職を目指す日本人ら約100人が参加した



東京都知事(1)第九七七一九号

未来を共に創造する

DAISANGEN 台湾人留学生・企業のサポートをいたします。

大家さん募集中!

株式会社 大三元 | 〒171-0021 東京都豊島区西池袋 4-19-4-201

TEL:03-5917-0727 FAX:03-5917-0047 E-mail:chien0621@gmail.com

簡単で効率のよい経理を支援します

大塚会計事務所

起業された方や、J-SaaS(サーズ)やパソコンで会計を始めるといふ方へ、毎日の経理処理や経理作業を簡単に効率よく進められるやり方をご支援いたします。

お気軽にご相談下さい

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-12-1 佐伯池袋ビル306

TEL: 03-3985-5730 FAX: 03-3985-5731

★山手線新大久保駅2分 ★総武線大久保駅1分

嘉南旅行社

東京都知事登録旅行業第3-4417号(社) 全国旅行業協会正会員

台北 ¥27,000(税別)	北京 ¥30,000(税別)	上海 ¥35,000(税別)
大連 ¥32,000(税別)	韓国 ¥27,000(税別)	越南 ¥32,000(税別)
香港 ¥30,000(税別)	曼谷 ¥32,000(税別)	新加坡 ¥32,000(税別)

●代辦中國、東南亞諸國簽證 ●世界各地便宜機票、酒店及團體旅遊
 ●來日團體的酒店、派車、導遊 ●電腦訂位、迅速、確實

※銀行匯款口座 精通國、臺、日語服務親切 三菱東京UFJ銀行練馬駅前支店(普)3678888(名義)嘉南觀光(株)

營業時間: 週一~五 9:30~18:30 週六 9:30~13:00
 TEL: 03-3366-3988 FAX: 03-3366-2989
 地址: 〒169-0073新宿区百人町2-20-1第二岡田屋ビル401

大鑫産業株式会社

広めよう未来につながるリサイクル社会

大鑫産業株式会社は、不用品や廃棄物のリサイクルを専門とする会社です。

非鉄スクラップ 自動車部品 OA機器 基板 CPU貴金属

◎電子部品、パソコン関係などの在庫処分にお困りの方は、DAIKINにご相談ください。
 ◎生基板、トナーカートリッジを買取、リサイクルいたします。

DAIKIN TEL. 0297-30-3308(代表) FAX. 0297-30-3309
 本社: 〒306-0515茨城県坂東市沓掛6464 http://daikin34.com/index.html

Information エンタメ/イベント/日台交流

早稲田大学台湾研究所が原住民に関するワークショップ開催

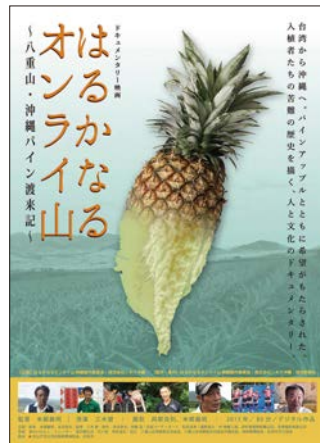


早稲田大学でワークショップ開催

早稲田大学台湾研究所は12月12日に、早稲田大学早稲田キャンパス3号館704号室でワークショップ「台湾原住民の姓名と身分登録：過去と現在をつなぐ文化・社会・制度」を開催する(10:00~18:00)。

問い合わせ↓
早稲田大学台湾研究所: TEL 03-5286-1996

はるかなるオンライン山が上映



「はるかなるオンライン山〜八重山・沖縄パイン渡来記〜」

本郷義明監督のドキュメンタリー映画「はるかなるオンライン山〜八重山・沖縄パイン渡来記〜」が12月5日から同27日まで、ポレポレ東中野で上映されている(上映時間10:40~、85分)。

問い合わせ↓
シネマ沖縄: TEL 098-857-5533

高雄短編映画リレー、スタート!

知日台湾・読書青年と高雄映画センターは現在、福岡、神戸、名古屋、東京で「高雄短編映画で台湾を知るリレー上映会」を開催している。



高雄短編映画リレー

問い合わせ↓
https://www.facebook.com/events/1023189467732976/

「日台文化交流 青少年スカラシップ」募集



日台スカラシップ参加者募集中

産経新聞社とフジサンケイビジネスアイは2016年の3月末(日程未定)、日本と台湾の青少年による文化交流促進を目指す「第13回日台文化交流 青少年スカラシップ」を実施する。

問い合わせ↓
日台スカラシップ事務局: TEL 03-3273-6180

台湾紀行の決定版「美麗島紀行」の著者が台湾で座談会

国立台湾歴史博物館は12月2日、11月26日に発行した人気作家・乃南アサさんの書籍「美麗島紀行」の座談会を開催した。

際、日本国内で知られている知識を超越した台湾における戦争の記憶と生活経験を知り、台湾人はどのように異なる言語と環境、そして多様な民族集団の歴史や環境のもとで生活してきたのかに興味を持ち、理解を深めていった。

ポイントが発見することが出来る。これは台湾独自の歴史を理解するために非常に重要である」とした。乃南さんは1960年東京都生まれ。広告代理店勤務を経て、1988年「幸福な朝食」が日本推理サスペンス大賞で優秀作に選ばれ、作家デビュー。



人気作家・乃南アサさん(右3)の書籍「美麗島紀行」における座談会が開催

台湾語で もっと臺灣

台湾では中国語の他に、台湾語も広く使用されています。台湾特有の言葉を覚えて台湾への理解を深めましょう!

受け答え編

台湾語:ハイヤー

日本語:そうです
中国語:ドゥイアー(對啊)

台湾語:ワッザイ

日本語:わかります
中国語:ジダオ(知道)

台湾語:ンザイ

日本語:わかりません
中国語:ブジダオ(不知道)

※台湾語は地域により様々な言い回しがあります。同コーナーでは一般的によく使われる台湾語をカタカナで紹介しております。

自社賃貸物件 賃貸担当:田口090-6125-1763

売買物件 売買担当 林:080-3441-0936 鍾:090-6163-5588

新検見川 徒歩7分 賃料4万5千円

(ロイヤルハイツ検見川) 2LDK 35m² 敷金0ヶ月/礼金0ヶ月 管理費0円

京成稲毛 徒歩11分 賃料3万5千円

(稲毛第二アパート) 1R 14.12m² 敷金0ヶ月/礼金0ヶ月 管理費0円

町屋駛 徒歩13分 家賃17万円

(コーポアポロン 202号室) 3LDK 110.25m² 3路線3駅 利用可能

鶯谷駅 徒歩3分 賃料75万6千円

(根岸ビル 一棟ビル) 187.43m² 鉄骨造 5階建



SANTOMI CORPORATION 三富株式会社 東京都知事(1)第93275号

〒136-0071 東京都江東区亀戸9-6-19 TEL 03-5836-6561 FAX 03-5836-6536

保険の見直し相談 歓迎!!

あなたに最適な保険が見つかります! “保険の相談” 無料出張いたします。

(株)リンクサポートグループ(本部) 全国規模展開の専門知識でコンサルティングができる生命保険代理店

14社の生命保険商品を駆使し、お客様のニーズにあったオーダーメイドの保険をお作りします



例えば... 東京海上日動あんしん生命の医療保険

- 頼れる1 健康なら払った保険料が戻ってくる「新しいカタチの医療保険」新発売! 保険料が戻ってくる保険です!
頼れる2 一生の医療保険を加入時のお手頃な保険料でメディカルkit R
頼れる3 入院の有無にかかわらず 入院の保障も手術の保障もしっかり!

※詳しい内容は(株)リンクサポートグループ(本部)へお問合せください

ご自宅・会社・店舗へ訪問してご相談し、最適な保険設計プランをお届けします。お電話、又はメールでご連絡ください。

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-8-3 丸の内トラストタワー本館20階

[担当] HOSAKA [直通TEL] 090-4748-8335 [本部] TEL: 03-5288-5354 FAX: 03-5288-5359

台南市が日本企業へ感謝のイベント



台南に投資する日本企業に感謝を述べる頼清徳市長(提供:台南市政府)

台南市政府は11月20日、日本の「勤労感謝の日」をテーマにしたイベント「日本の日一日台交流聯誼活動」を初めて開催した。これは、同市に拠点を構え投資している日本企業への感謝の意を表すため、また双方のさらなる交流を促進するために行われたもの。

同イベントには台南の日系企業40社約100人の関係者が出席し、同市の頼清徳市長らと交流強化を図った。また、イベ

ンが増えることに期待したい」と述べたほか、投資に関する各種の問題解決を支援する窓口を設置したこともアピールした。

同市経済発展局によると、日本は以前より変わらず台湾の重要な経済貿易の相手国であり、特に台南においては最大の投資国であるという。当初、台南市に拠点を構えている日本企業は50社だったが、現在では80社に増加。昨年台北で投資の説明会を開催した際も50社以上の参加があるなど、多くの日本企業が台南投資に魅力を感じている。

同局投資商務科の林世榮科長は、「同イベントは今後、毎年日本の『勤労感謝の日』前後の休日に開催する予定です。この『日本の日』が、日台交流のさらなる促進の機会となれば」と期待感を示した。



日本企業30-40年表彰者と頼市長(左2)

ンで頼市長は、台南に投資してから20年、30年、40年以上になる企業をそれぞれ表彰した。なかでも今年が台湾進出50周年となった台湾カゴメに対しては特別に感謝の意を表した。

頼市長は会場で、「台南は日本との関係が最も密接な都市です。イベントを通じて互いに理解を深め、さらに多くの日本企業に台南投資をして頂きたい。さらなる相互協力の機

「愛媛・松山産業祭り」に台北市が初参加

愛媛県の松山市と友好交流都市となっている台北市の周麗芳副市長率いる訪問団がこのほど来日し、11月21日、22日で開催された「愛媛・松山産業祭り」に参加し観光誘致PR活動を行った。会場には「台湾・台北市コーナー」が設けられ、観光パンフレット配布や、台北の焼き菓子や台湾料理を提供し、来場者に台北の魅力伝えた。また、台北101マスコットフィギュアが登場すると、現場は一緒に写真を撮ろうとする来場者が集結し、盛り上がりを見せた。

松山市の西泉彰雄副市長は、「台北市は、この台北焼き菓子と同じように、古き良き精

神と現代の創意が結合した街であり、松山市市民の皆さんにもぜひ直接台北に観光旅行にお越しいただき、台北の魅力を体験して欲しい」と述べた。

なお、台北市の周麗芳副市長は同祭りの開幕のテープカットにも参加し、「愛媛・松山産業祭りは、愛媛県と松山市の1年に一度の盛大なイベントであり、友好都市である台北市は参加しない訳にはいきません。必ず参加して、台北市と松山市、両市の深い絆を示したいと思います。今回のイベントでは、台湾の本場B級グルメの展示ブース、台北市の観光伝播局の宣伝ブースもありますので、

ぜひ皆さまお越しになってください」と述べた。

台北市松山区と同じ名前という縁があり、台北市は2014年10月に日本愛媛県松山市と友好交流協定を締結した。松山市は、友好交流協定締結1周年を記念して、2015年10月30日から11月1日の3日間、台北市観光伝播局の招待に応じ、台北各地で合計6回にわたって「松山市大神輿一途後八町喧嘩神輿」を公演した。台北市の「愛媛・松山産業祭り」参加も、松山市の招待に応じた格好だ。



会場にて。亜東関係協会の李嘉進会長(右1)、台北市の周麗芳副市長(右2)、駐日経済文化代表処大阪分処の蔡明耀処長(左1)



大人気だった台北101マスコットフィギュア(提供:観光局)

投稿

革命の孫文と人情の九州



台北駐福岡経済文化辦事處 處長 戎義俊

福岡市動物園のそばに広がる南公園。この緑多い公園の小高い場所に、中山記念碑が立っているのをご存知だろうか。中山というのは、清朝を倒すために革命運動を指導した国父・孫文が日本に亡命した際に使用した日本名であり、この記念碑は孫文生誕100年を記念して1965年に福岡日華親善協会によって建立されたものである。しかしその存在は福岡市民にすらあまり知られておらず、かすれてしまった碑文が静かな時の流れを感じさせる。今年は孫文生誕150年、そして中山記念碑建立50年にあたり、去る11月14日、記念献花式典が福岡日華親善協会(天岡健会長)の主催により中山記念碑前で行われた。なぜ福岡市に中山記念碑があるのか、孫文と九州、福岡との関係を考えてみたいと思う。

20世紀初頭、孫文は清朝打倒、共和制の樹立を目指し、日本を根拠地に革命運動を推進し、その間9回もの来日を果たした。革命に対する日本人の支援、中でも九州人の活動は際立っており、自分の生家に孫文をかくまい献身的に活躍した宮崎滔天(熊本県荒尾市)をはじめ、滔天から紹介を受けた玄洋社(福岡市)の頭山満、孫文と香港で知り合った実業家(長崎出身)の梅屋庄吉などに代表される九州人が資金や武器など物心両面から支援を続けた。また医師(大分出身)の高野太吉は胃病に苦しむ孫文を治療し健康面から支援した。孫文の革命人生において、九州は大変大きなウェイトを占めており、人情に厚い九州人の支援がなければ、1911年の辛亥革命は成功しなかったといっても過言ではない。辛亥革命により中華民国が成立し臨時大統領に就任した孫文は、まもなく国賓として来日した折、わざわざ荒尾市の宮崎家を訪れたほど、滔天とは真の同志として盟友関係にあったのである。

福岡市にある福岡日華親善協会(1965年成立)によれば、孫文と九州先人との深い友情を尊ぶと同時に戦後の蒋介石の日本に対する寛大な措置「以德報怨」への恩義から、九州の有志や華僑に出資を募り1965年に南公園に中山記念碑を建立したという。同会は今日まで、定期的に献花式典を開催するほか、孫文と蒋介石の生誕祝賀会を毎年福岡市で開催するなど民間交流を続けている。福岡市で孫文生誕150年を偲び献花式典が開催されることは誠に意義深いことだ。

台湾において中華民国の「国父(建国の父)」と呼ばれる孫文は、中国では「民主革命の偉大な先駆者」と呼ばれており、双方ともに高く評価されている人物である。孫文生誕150年の節目に、孫文と九州の深いつながりにスポットをあてた報道特集が九州のマスメディアによって製作され、多くの人々に孫文の足跡や九州人との友情を知ってもらいたいと願っている。



中山記念碑

九州台湾商工会が忘年会開催



あいさつする戎処長

九州台湾商工会(会長:頼玉汝氏)は11月28日、ANAクラウンプラザホテル福岡にて平成27年の忘年会を開催した。同会には、山口県から九州・沖縄に至る広い地域から同胞と「台湾大好き人間」の72人が参加し、今年一年の活動を振り返るとともに、来年への決意を新たにした。

開始に先立って挨拶に立った台北駐福岡経済文化辦事處の戎義俊處長は、4年前に発足した「福岡台湾商工会」が頼会長の就任と「九州台湾商工会」への改名によって守備範囲が広がった事への祝意を

述べた。また、一昨年58億米ドルだった九州～台湾の貿易総額が、昨年は63億米ドルに伸び、今年はさらに拡大するものと確信していると語り、九州台湾商工会が果たす役割に大きい期待を表明した。

これを受けて頼会長は、東京、関西、琉球、横浜、千葉、九州にある台湾商工会が一致団結して日本台湾商連合總會としてまとまった事、そして、ここを基盤にしてアジアと世界の台湾商工会が各国の文化を理解しながら新たなビジネスチャンスを見つけるための情報を共有しつつある事を報告し、そのなかで微力ながら今後とも当会の発展に努めてゆきたいとの決意を表明した。

また、僑務委員の新垣句子氏と琉球台湾商工協会の吳啟源会長は「ここにいる皆が頼会長を助け、九州と台湾の結びつきを強くしよう」と訴え、会場の大きい拍手を受けた。

次いで会場は胡弓と琵琶の美しい音色に包まれ、その中で頼会長と山口中華總會長の大倉睦子氏が「雨夜花」を合唱した。

音楽の後は、豪華な景品を目指したクイズやジャンケンゲームで交流を深め、最後に留学生達が歌う「朋友」に合わせて、会場の全員が手をつなぎ、肩を組んで歌い「来年も頑張ろう!」の声とともに閉会した。

中国語スピーチコンテスト、沖縄でも開催

日本航空と日華青少年交流会は11月22日、沖縄のJTA本社ビルで第27回「中国語スピーチコンテスト」を開催した。

コンテストでは、琉球大学、沖縄大学及び沖縄国際大学などの学生計12人が参加し、「中国語と私」と「青少年交流」の演題で3分間、中国語によるスピーチを披露した。琉球大学講師の張維真さん、高慧理さん、及び那覇分処の蘇啓誠処長による審査の結果、琉球大学の北川穂乃香さんが優秀な成績を収め、台湾訪問団への参加権を獲得した。

蘇処長は講評で、日本航空に対し「中国語の学習に努力している沖縄県内の大学生のために中国語スピーチコンテストの継続に感謝したい」と話したほか、「中国語は世界で一番使用されている言語です。中国能力が良ければ、将来の人生の開拓に役に立つ。学生には、

中国語の学習を通じて、台湾と沖縄の文化の違いなどを理解し、台湾と日本、沖縄の架け橋となっていたいただければ」と学生にエールを贈った。

同コンテストは東京と大阪でも開催されており、それぞれの上位2人が2016年3月頃に予定されている約1週間の台湾研修旅行に参加し、現地で行う。



中国語スピーチコンテストに学生12人が参加

台湾野球界は過渡期～日台の野球交流はますます盛んに

Matsu

プレミア12では、台湾での予選で、延長線の末、逆転負けを喫した台湾代表チーム。しかし、実力が拮抗した中での激戦に、台湾野球ファンからは拍手と歓声が沸いた。台湾野球界は、現在、過渡期を迎えているといってもよい。かつては郭泰源選手、呂明賜選手、郭源治選手ら台湾出身の選手が、日本球界で活躍して「台湾」の力を知らしめた時代があった。それ以降、留学後にドラフトを経て日本球界に足を踏み入れる選手が増え、現在は、外国人選手がドラフトの権利を得るまでの日本への必要

修学期間が短くなっているため、台湾人選手が日本球界へ進出していくケースも増えた。また、王建民選手など、アメリカ・メジャーリーグでプレーする台湾人選手も出てきた。「プレーする」というレベルではなく、20勝近い勝星を上げるなど、「必要戦力」として君臨するパターンもある。中日を経てアメリカへ渡ったチェンウェイ選手もその一人と言えよう。野球は「投手は主動的立場、打者は受動的立場」と言われる。ピッチャーがボールを投げなければ、試合は始まらない。バッターはピッチャーの球を打つ、

「受け身」的な立場である。日本や台湾から進出した場合、「(主動的立場の)投手の方が活躍できる可能性が高い」と言われてきたが、実際、数で見てもそれは実証されているようだ。

WBCやプレミア12の予選で、台湾は、毎大会、大健闘し、記憶に残る戦いを見せている。国内リーグよりも、代表戦の方が注目を集めるのは、日本と同じ傾向だが、今後、その代表戦の激戦を、どのように、国内リーグへフィードバックさせるかもポイントとなる。台湾はプロのチームのみならず、社会人チームの強豪も揃う。先日は、台北・天母球場で、四国・徳島の独立リーグのチームと台湾の社会人野球チームが交流試合を行った。また、日本に在籍した台湾人選手が、台湾球界に入団するという現象も出ており、日本の技術が台湾へ伝達されるという循環も起きている。来年3月には、大阪、名古屋で、台湾代表が日本代表と親善試合を行う予定だ。日本と台湾は観光、ビジネス交流のみならず、野球などのスポーツ面での交流も起きている。そういった好循環が、台湾と日本の実力向上、競技人口、観戦者数の増加に繋がることを望みたい。

台湾人(百人百色) 駄菓子屋のおばちゃん—金瓜石の林秀琴さん 文:林雅行(映画監督)



金瓜石の林秀琴さん

日立系商社を定年退職し、現在、神奈川県立大学非文字研究資料センターの研究協力者である金子展也さんが今年秋に『台湾旧神社故地への旅案内—台湾を護った神々』(神社新報社)をまとめた。台湾に残る神社と神社跡を丹念に歩いてまとめた研究であるがガイドブックとしてまとめたという。金子さんが商社マンとして台湾駐在時代に観光がてら訪れた金瓜石に残っていた神社跡が彼の知的好奇心に火をつけたのだ。了不起!

私は金瓜石を舞台としたドキュメンタリー映画『雨が舞う—金瓜石残照』を製作した(2009年)。基隆山の西側の九份は観光客でごった返す。東側の金瓜石には博物館もあるが、観光客はまだ少ない。私には金瓜石にとっても印象に残っている店がある。金瓜石の住宅街のメインストリートの坂道にある、おばちゃんがやっている駄菓子屋(日用品も有)だ。「金瓜石に行った」と聞くと「おばちゃんの駄菓子屋まだやってました?」と必ず尋ねる。

取材時、このあたりには駄菓子屋とカフェくらいしか店はなかった。1894年に金脈が発見され1987年に閉山するまでの93年間、金と銅を産出する東洋一の金鉱だった金瓜石。ゴールドラッシュ時は、このメインストリートは往來する鉱夫たちで一杯だった。

駄菓子屋をやっているのは林秀琴さん。取材時は79歳だったから今は85歳のはず。(私は取材後も何度も訪れたがいづつも元気です)。

菓子は箱のまま軒先にあり、アルミのフタがついているビンの中にもラムネ菓子やスルメなどが入っている。「賞味期限は大丈夫か」などと気にはしていない。すぐ近くに滞在する民宿があったので毎夕に顔をあわせる。「おはよう」と林さんは日本語で声をかけてくれる。朝は7時に開店。閉店は夕方だが時間は決まっていない。私は朝、取材にでかける前に、林さんの店で「台湾ビール」を買っておく。当時まわりに一軒の店もないし、自販機もなかったからである。

戦前のゴールドラッシュの時は3~4万の人が生活していたこの街。地元の小中学校には2000人の子供も通っていた。いまはわずか60人ほど。昔から林さんの店のお得意さんはもっぱら小学生らしい。

林さんがこの街に父と共にきたのは1936年のことだ。林さんは7歳。林さんの父はこの町にやってきて駄菓子屋を始めた。この年から金瓜石はゴールドラッシュになり、1940年にかけて全盛期を迎える。この年だけで金2.5トン、銀10.4トン、銅6915トンを産出する。町に自動車が入り、海側の水滴洞から基隆

港まで鉱石運搬のために軽便鉄道も敷設されている。

「私が7歳でこの町にやってきた頃は、この店は小学生のたまり場みたいになっていて、午後になると学校帰りの子が一杯。夕方になると鉱夫たちが大勢通るから路上で遊んでいる子たちもみんな店の中に入って来た」という。林さんの少女時代の記憶だ。

店の横の扉をあけて細くて急な階段を昇って行くと2階は書店。子ども向けの雑誌が山のようにびっしりと積まれている。貸本屋をやっていた。子どもたちは下で菓子を買って2階に上がり雑誌を読んで午後のひとときをすごしたに違いない。

戦後は金瓜石は金よりも銅山として運営され、子どもたちもまだ沢山いたので店は賑やかだった。ここにあるのはその頃の雑誌だから今の子どもは見向きもしないで珍しがるとか。だが私は珍しいだけでなくなぜか懐かしい。50年前の少年時代を思い出してしまった。

一枚の写真がある。私も撮影クルームも、みんながとても気に入ったものだ。写真家が撮った、とっておきの一枚。許可を得て映画のポスターとチラシに使わせてもらった。中に写る1人の少女(?)。実は林秀琴さんなのですよ。極好!



台湾 街角 経済「つまみ食い」

台湾人が想う日本と日本人

このコラムも今回が最後です。そこで私なりにこの一年を振り返ってみました。

日本と台湾との関係は、地方レベルや民間レベルで驚くほど深まって行きました。とくに特徴的だった事は、両国の地方と地方との関係が深まった事です。とくに春から夏にかけては毎週のように、文化やスポーツ交流が盛んに開催されていました。たぶん日本の市町村のトップがこれほど訪台した事はなかったと思います。

また最近ですが面白い試みがありました。それは台南市政府が同市にある「日本企業への感謝を表す」として、なんと11月23日を「日本の日」に定め、この日に交流を深めたい、というのです。

さらに民間でサブカルチャーやB級グルメなどでの交流が盛んだった事も挙げられます。最近では、デパートなどでのイベントやセールに、日本グルメは集客の目玉として欠かせませんし、うな丼、天丼、かつ丼などの「どんぶりブーム」が起きます。

こうした日本と台湾とのホットな関係がより鮮明に出たのが、11月6日から9日まで台北市の世界貿易センターで開催された台湾最大の旅行フェア「2015 ITF 台北国際旅展」です。

台湾の観光客成長率は23.63%と急成長を示し、収益の増加率は18.9%とこれも驚くべき数字です。そうした台湾での旅行ブームを背景に、このITFが開催されました。

さてITFの総出展数は1450ブース、60

の国と地域の950団体が出展したのですが、日本からの出展は157ブースで断トツの最多です。

観光関連機関などによるプレゼント商品は計1500万円(約5617万円)にも上り、恒例の福袋は1日に2000個が配布されました。こうしたサービスは台湾ならではです。

また会場では格安旅行販売が激しく展開され驚きました。大手旅行代理店が来場者に直接ツアーを販売しているのです。来場者も目玉ツアー商品を必死に探していました。

台湾の旅行代理店は、その規模順に「総合」「甲種」「乙種」と区別されていますが、これら台湾全土の本社支社を合わせて3600社以上となります。そして大変に熾烈な競争をしています。

大手旅行代理店の日本と台湾との違いは、日本では旅行代理店が旅行企画を組み立てますが、台湾では海外旅行については航空会社が牛耳っています。航空会社が座席の価格と数量を決めるのですが、それを持って旅行代理店は現地ホテルなどを手配し、旅行企画を組み立てるのです。つまり圧倒的に航空会社がパワーを持っているのです。

現在、日台航空路線は一週間で13社566便が19都市に就航(2015年9月現在)しています。2011年に週256便だった事を考えれば、たったの4年で倍増しています。驚くべき数字です。

さてITFの話に戻しますが、台湾の旅行代理店は日本ツアーを大々的に売りに出して

簡 憲幸(新規事業開発コンサルタント)

いました。また日本からの出店ブースも盛り上がり、どこも人だかりです。

今回のITFに関して、事前PRは中国、韓国、そして台湾原住民などを目玉としていました。しかし実際にはどのブースも閑古鳥状態であり、台湾来場者の多くは日本ブースに目を向けていました。

本来、台湾人の海外ツアーといえば、圧倒的な観光資源大国である中国に対して、日本は勝ち目がないはず。それも台湾人は自分たちの言葉が通じる中国より日本に心惹かれるのです。この事を日本人は不思議に思わなくてはなりません。台湾人の日本好きには、それなりに理由があるのです。もちろんその理由は一つや二つではありません。

日本人が台湾とのビジネスを考える上で、この事をまずは考えるべきでしょう。それがどのようなビジネスであっても、台湾人の心を知る事が必要です。「日本への憧れ」だけで納得してはいけません。多くの台湾人にとって日本とは、無意識ながら「心の故郷」なのです。日本に行くのではなく日本に帰る、という感覚が隠れているのです。それは日本時代を経験した高齢者でだけではありません。若い世代にとっても、日本はただの外国ではないのです。

日本人が台湾でビジネスを成功させたいのであれば、こうした台湾人の深層の感情を理解すると良いのではないのでしょうか。

最終回

台湾近代化の功労者、花蓮開拓の父

最終回 賀田金三郎物語【賀田家の家系】

明治20年4月、大倉組と藤田組は共同出資を行い、2つの株式会社を創立した。一つは、陸海軍の軍需品用達を主業務とする内外用達会社、もう一つは土木の請負を主業務とする日本土木会社で、共に資本金は500万円の大企業であった。

賀田兄弟は内外用達会社に、金子圭介氏は日本土木会社の社員となった。内外用達会社勤務になった金三郎は、萩での失敗を忘れるために、そして、船の中で多門達立った誓いを果たすべく、我武者羅に働いた。その働きぶりはいつしか上層部の耳にも入る様になった。そして、金三郎は、入社してわずか6か月後の10月には、伊予松山出張所主任(所長)として異例の昇格となった。

当時の松山は他の地域に比べ、最も運営が難しい地域と言われており、藤田組、大倉組の従来の主任は皆、2年で根を上げ交代となっていた。

その地への赴任を金三郎に命じた重役たちは、「賀田金三郎ならばやれる」という考えの元での決定であった。

金三郎はその重役たちの期待に見事に応え、松山で8年間主任(所長)を続け、それまで誰も達成できなかった業績を残したのである。

その後、内外用達会社は解散となり、金三郎は大倉組に合流した。大倉組での金三郎の働きは上層部の予想を大きく上回るものであった。その結果、金三郎は大倉組にとって重要な事業であった台湾進出の際の初代総支配人を任せられ、日本が台湾を統治してわずか4か月後に渡台している。その後、児玉源太郎総督、後藤新平長官の台湾近代化に大きく貢献をした。

金三郎は台湾開拓の後、朝鮮開拓にも従事している。彼は常に「自分はお国のために如何にしてお役に立てるのか」を考え続け、日本国のために必要であると判断した場合には、損得抜きで投資を行った。

その結果、台湾銀行、台湾貯蓄銀行、台湾興業銀行、新高銀行、朝鮮電気工業、太陽鋳業、原町紡績、台湾驛傳社、南洋



賀田金三郎

拓殖工業、天津隆和、東洋硫黄、旭電気、日本皮革、大阪製氷、伊予鉄道、日支食糧、台湾製糖、太平洋炭鉱、台湾日日新報、拓殖新報、日本製靴、台東開拓、台東製糖、九州炭鉱汽船、内外ビルディング、満州商業銀行、瀬戸内海横断電力、日本石材工業、萩製糸、朝鮮皮革、朝鮮精米、朝鮮勸業等々で社長、役員、監査役を務めた。さらに、金三郎は社会への貢献として多方面への寄付、そして、教育に関して、苦学生に対しての金銭援助、故郷の萩や住まいかあった麻布の学校への多額な寄付も行い、日本の未来のために優秀な人材を育成するための援助も行った。

金三郎についてさらに詳しく記していきたいと思いましたが、残念ながら今回で連載は終了となります。

現在、「台湾近代化に貢献、東台湾開拓の父 賀田金三郎物語」を執筆中です。いつの日か書店で見かけたら、是非、ご一読頂ければ幸いです。

永きにわたりご愛読くださり、誠にありがとうございました。皆様のご記憶の片隅に、「賀田金三郎」と名が残れば本望です。(終)

(播磨 憲治)

【休載のお知らせ】
連載中「More!More!台湾」は都合によりお休みしました。

台湾 あります

台湾 美食

絶賛発売中!!

店頭で使える おトクな クーポン付き

家で作れる かんたん 台湾料理 レシピ付き

日本で堪能できる台湾料理のお店を 厳選して掲載しました。

定価: ¥1,500+税

お問い合わせ: 台湾新聞社 台湾新聞美食部門
Tel: 03-5917-0045 Mail: info@taiwannews.jp

台湾バンド「MAGIC POWER」が日本ライブでパワー炸裂!



MP東京ライブにファン熱狂 ©KawazawaTomohiro

今年の7月によしもととアール・アンド・シーに所属し、日本での活動を本格化させた台湾出身の6人組バンドのMAGIC POWER (MP 魔幻力量、以下:MP) が11月4日、ベストアルバム「THE BEST OF MAGIC POWER」を発売した。さらに11月27日には大阪で、同29日には東京で、初めてのワンマンライブを開催して日本のファンを沸かせた。

東京公演は早い段階でチケットが完売した。当日も会場は身動きが取れない程の大勢のファンが集結し、熱気に包まれた。ファン層も20代から40代位の男女と様々で、なかには台湾からわざわざ来た人や、国内でも新潟や名古屋などの地方から駆け付けた熱狂的なファンもいた。ライブでは、日本のバンド、flumpoolのボーカル・山村隆太さん、LUNA SEAのギター、INORANさんの姿もあった。

MPはライブで、同アルバムに収録された「戦神」や「GET OUT」、「我們的主场」などの中国語の楽曲のほか、日本語版の「I Still Love You (原題:我還是愛著你)」、「射手」など全15曲を披露したほか、アンコールに「Thank You」など4曲をサービス。それでも鳴り止まない声援で2回目のアンコール。オリジナル中国語版の「射手」を披露し、台湾でも話題となった「射手ダンス」をファン達と踊った。会場全体が一つになった瞬間だった。

メンバーはライブ中、日本人ファンのために出来るだけ覚えてた日本語を使ってト

クしたほか、DJのグーゲーが「水啦(スライ、意味:美しい)などの台湾語を指導するなどしてファンと触れ合った。ボーカルのティンティンは最後に「日本で皆さんに会えて本当に嬉しいです。新しいアルバムが出来たらまた皆さんに会いに来ますね」と再来を誓った。

ライブ終了後もファン達は会場に流れるBGMに合わせて歌ったり、メンバーの名前を呼んだり、名残惜しい様子で、なかには感動で涙を流すファンもいた。

台湾新聞では日本での活動を本格化させたMPに単独インタビューを行い、今の想いなどを聞きました!

——日本でのアルバム発売おめでとうございます!

ティンティン (Vo): ありがとうございます。自分たちでもとても意外でしたし、すごく楽しみにしていました。小さい頃から日本の音楽を聴いてきましたので、まさか自分たちが日本でアルバムを出せるなんて思ってもみなかったです。台湾では4枚のアルバムをリリースしましたが、毎回ライブにも日本からのファンの人たちが来てくれていたもので、日本のファンの方々のホームで今回ライブが出来たことをとても嬉しく思っています。

——アルバムの特徴は?

グーゲー (DJ): 今回のアルバムは台湾でリリースされた4枚のアルバムのそれぞれの代表作を自分たちでセレクトして、アルバムを作りました。曲順は最初にアップテンポの曲でウォーミングアップをしてからセンチメンタルなバラードも交えて、最後に日本のファンへのプレゼントとして日本の曲を入れた時に楽屋にお邪魔して、「今度、一緒にコラボしませんか」という呼びかけに「是非やりましょう」という返事をもらいましたのでチャンスがあればコラボしたいと思っています。あと氣志團さんも台湾のイベントで自分たちの射手ダンスをやってくれたので、嬉しかったです。今度は是非、一緒に踊りたいなと思います。分たちの射手ダンスをや

——収録曲の「I Still Love You」は、

田村淳さんが歌詞を提供したとお伺いしました。歌詞はどうですか?

ガーガー (Vo): この曲の中国語バージョンはティンティンが自分の実体験をもとに詞を書いているんです。淳さんに会った時に日本語バージョンの歌詞について聞いてみると、淳さんも自分の実体験をもとに詞を書いて頂いたようです。終わってしまった切ない恋への執着を書いてくれて、感動的な内容になっています。淳さんには忙しいなかで詞を書いてくださって本当に感謝している。この作品が、日本の皆さんにMPを広く知って頂く機会を作って下さった。

——日本語はどのように練習したのですか?

ガーガー: 日本デビューが決まって、吉本興業さんがメンバーに授業の機会を設定してくれました。専門的な先生をつけてくださって、発音とか歌う時のポイントまで指導してくれました。メンバーの中で一番上手なのはギターのレイボウ!

——東京のライブは早い段階でチケットが完売でしたね!

ティンティン: ビックリしました。感謝しています。これまで2回ほどサマーソニックに出演したのですが、最初は舞台の下の様子をみると「自分たちは知られていないな」という感じだったのですが、次の年に出演した時はMPを目当てで来てくれて、出待ちまでしてくれるファンがいたので、少しずつMPが日本で知られてきている実感がありました。ワンマンライブが出来て本当に嬉しいです。

——これから一緒にコラボレーションしてみたい日本人アーティストはいますか?

グーゲー: M-floさんが台湾でライブをされた時に楽屋にお邪魔して、「今度、一緒にコラボしませんか」という呼びかけに「是非やりましょう」という返事をもらいましたのでチャンスがあればコラボしたいと思っています。あと氣志團さんも台湾のイベントで自分たちの射手ダンスをやってくれたので、嬉しかったです。今度は是非、一緒に踊りたいなと思います。分たちの射手ダンスをや



北でORANGE RANGEさんと一緒にライブをしたことがあります。その時はORANGE RANGEさんの曲をカバーさせてもらいました。でも、心残りなのは、全員一緒に歌うシーンがなかった事。次は全員で歌いたいです。

——日本でやりたいことはありますか?

アシヤン (Dr): ショッピング!あとはディズニールンドに行ってみたいです。

グーゲー: バラエティ番組に出演して、「ドッキリ!」も経験してみたいですね。

——日本のファンに一言お願いします!

レイボウ (Gt): 日本で歌うことができ嬉しく思っています。中国語は難しいかもしれないけど、少しでもいいので覚えてくれたら嬉しいです。

ガーガー: これからも出来るだけ日本に来られるようにします。あと、日本語版の「射

手」と「I Still Love You」のミュージック・ビデオも撮りました。日本のアイドルグループ「C-ute」の矢島舞美さんにもゲスト出演して頂いているので、是非見て下さい!

アシヤン: いままで支えてくれた日本のファンの方にとっても感謝しています。良く手紙を頂くのですが、頑張って中国語で書いてくださっているのすごく嬉しいです。自分たちも日本語を覚えて直接日本語でコミュニケーションをとれるように頑張りたいと思います!

カイカイ: ファンの方々の1時間だけお借りして、今回のベストアルバムを聞いてもらいたいです。6年間のMPの歴史が詰まっているの聞いてMPを知ってもらいたい。元気になる曲が沢山入っていますよ!日本のツイッターもフォローをお願いしますね!

Magic Power メンバーのサインをプレゼント! えさせていただきます (12月中旬に発送予定)。

台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で1名様にメンバー全員のサイン入り色紙をプレゼント!応募方法は、ハガキに応募券を貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見ご感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代

締切り: 12月15日 (消印有効)
台湾新聞社編集部
〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4
tel:03-5917-0045

台湾新聞 X Magic Power

台湾人イラストレーターが日本で初トークショー

台湾で絶大な人気を誇る台湾人イラストレーターの「彎彎 (ワンワン)」さんは11月7日、台湾文化センター主催のトークショーを虎ノ門の台湾文化センターで行った。聞文堂の天野健一郎氏が企画した「台湾映画と文学講座」内の1つとして開催されたもの。ワンワンさんが日本でイベントを行うのはこれが初めて。会場はワンワンさんのトークを楽しみに集まった来場者で満席となった。

トークショーではワンワンさんがイラストレーターになったきっかけから台湾の日常生活、家族についてなど、自身が描くユーモア満載のマンガを用いて面白おかしく紹介したほか、主人公の友達役として出演した大ヒット映画「那些年我们一起追过的女孩」の裏話披露や、来場者を対象としたQ&Aを行い、初めて会う日本のファン達と交流した。ワンワンさんは「こんなに沢山の日本の大人の方々の前で話をするのは初めてなのでとても緊張しています」と話したものの、緊張を感じさせないテンポの良いトークで会場から笑いを誘っていた。

トークショー後、ファンの中にはワンワンさんが台湾で出版しているマンガ本を持参し、サインをお願いする人も。また別のファンからは「台湾の日常生活がマンガを通して知れるから面白い。頑張って中国語を勉強しながら読んでるがやはり難しい」との感想があり、

日本語版の出版を望む声が多く聞かれた。今年でプロの漫画家として10周年を迎えたワンワンさんのイラストは、デビュー当初から変わらず、自身をモデルにした「丸い顔に豊かな表情が特徴的なキャラクター」が主人公となっている。マンガ出版から始まり、今ではグッズ販売やLINEスタンプで注目を集めるほか、台湾ファミリーマートのCMに起用されるなど様々な形で発信されており、ファン層も子供から大人まで幅広い。「今後は動画の制作にも力を入れたい」と(ワンワンさん)と、常に新たな事にチャレンジする前向きな姿勢が印象的だ。

また、ワンワンさんは大の日本好きで、マンガ執筆のネタを集めるために日本を旅行しているという。東京はもとより、北海道や京都、草津などの旅行経験もあり、今年の年越しも日本で過ごす予定だという。そんなワンワンさんの現在の夢は日本で自分のマンガ、グッズを発売する事。トークショーでも、「私のマンガは2コマから4コマほどの短いものもあるし、中国語は比較的簡単なので中国語学習にも良いと思う。私のマンガを通して台湾への理解を深めてもらえると嬉しい」と、日本でのマンガ発売への熱い思いを語っていた。ワンワンさんのマンガが新たな日台交流の機会となることに期待したい。



台湾女性イラストレーター・ワンワンさん(右)が日本で初めてトークショー!

ミスインターナショナル・チャイニーズタイペイの衣装 Check★



民族衣装審査☆台湾の原住民を想わせる衣装で「台湾」らしさをアピール



ドレス審査☆パールを纏ったような透け感のあるブルーのドレスで上品に



水着審査☆ピンクの水着で南国の温暖な台湾をイメージ

ミスインターナショナル世界大会が11月5日、グランドプリンスホテル新高輪にて開催され、台湾代表の顔辰甯さんも華麗にランウェイに登場しました。

GO!GO!TAIWAN ローラも行った! 最旬台湾ガイド

本書は日本で大人気のモデル・ローラさんが実際に台湾に訪れ、体験を基に制作した台湾ガイドブックの最新版。ローラさん独自のオシャレでスタイリッシュ、そしてノスタルジックな写真が随所に使用されており、しかもシンプルなデザインなので写真集感覚で見ることが出来るのが特徴。

台湾で絶対にはずせない「定番美食情報」はもちろん、ローラさんがナビゲーターとして実際に行った最新オシャレスポットや買い物スポット、台湾ファッションistaの間で話題の場所の情報などが盛りだくさん描写されている。なかでも特筆は

カフェ紹介のページ!今話題のSNS「インスタグラム」用に素敵な写真が撮れるカフェ、犬・猫に会えるカフェなど、様々な視点から台北のカフェを紹介している点だ。オシャレな台湾旅行がしたい人には必見の一冊と言える。

〈ローラさんのコメント〉
「こんど講談社からとってもおしゃれな台湾ガイドブックがでたの!その撮影でなかよしのスタッフさんみんなで台湾にいってきたよ。台湾のお店やレストランが想像の何倍もおしゃれでびっくりした~(^^)」

読者プレゼント企画
台湾新聞をご覧の皆様の中から抽選で2名様に同書「GO!GO!TAIWAN ローラも行った! 最旬台湾ガイド」をプレゼント致します!応募方法は、ハガキにこちらの切り抜きを貼り付け、お名前、ご住所、お電話番号及び台湾新聞へのご意見ご感想を明記のうえ、台湾新聞編集部までお送りください。当選のご連絡は発送をもって代えさせていただきます (12月中旬に発送予定)。締切り: 12月20日 (消印有効)
台湾新聞社編集部 〒171-0021 東京都豊島区西池袋4-19-4 / tel:03-5917-0045

台湾新聞224 読者プレゼント 応募券